



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

# 広島陵北ロータリークラブ

## - The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに  
輝きを

2014-2015年度 会長メッセージ

第1166回例会 2015年6月10日 No.1135号

### ■ 会長時間



#### 会長 渡部 邦昭

みなさん、今日は。私の会長年度も最後月となりました。一年を振り返るのは少し早いのですが、私の年度(2014年6月1日～)は、様々な天災・事故・出来事が生じた年度であったように思います。前回の例会が6月3日でしたが、6月5日夜に中国の長江で旅客船が転覆して、436名あまりの方が亡くなられました。何故、「不連続の連続」のように、事故や災難が振りかかってくるのでしょうか。

私どもは、今こそ謙虚な気持ちで様々な危機に向き合わなければいけないのではないかと思います。今年度は、愛谷俊治会員が目出度く傘寿(さんじゅ、80歳)を迎えられたこともあって、当クラブでは、人の平均寿命や健康寿命に関心が集まっております。平成27年6月号のロータリーの友「友愛の広場」をみてみると、「天海僧正百歳・長寿の秘訣」ということで、寄稿がありました。(第2690地区、塩宏、内科医)これによりますと、天台宗の高僧、南光坊天海(1536-1643)は、108歳の天寿を全うされたとのこと。天海は、長生きの秘訣は「長寿は粗食、正直、日湯、陀羅尼、ときおり御天風あそばさるべし」と述べたとされています。つまり、粗食を重んじ美食、飽食を避けて、嘘をつかず、毎日入浴して清潔にして、ストレスをためず、声を出してお経を唱え、時には放屁(おなら)するのが健康長寿のためになる、ということのようです。言われてみれば、思い当たるのではないのでしょうか。医学書によりますと、人の健康は、交感神経と副交感神経のバランスで保たれているとのこと。現代社会はストレスが多いですが、ストレスをためない生活を心懸けましょう。ちなみに職業別では、宗教家が一番長寿だということです。この点も、何となく納得できますね。さて、本日の卓話は、長谷川尚道(たかみち)様に「産学官連携と離島高専一地(知)の拠点をめざして」と題してお話していただきます。履歴につきましては、別紙を御覧ください。広島県豊田郡大崎上島町にあります広島商船高等専門学校は、就職率100%の学校だそうで、これからの地域の連携と地方創造など有益なお話しがいただけるのではないかと思います。ご静聴をお願いします。

#### 今回の例会(6月17日)

会長・幹事・理事役員  
退任挨拶

#### 次回の例会(6月24日)

最終夜間例会

#### 出席報告 (例会運営委員会)

##### 6月10日(水)出席者

会員総数	53名
出席会員	43名
欠席会員	10名
ご来賓	1名
ご来客	5名
ゲスト	0名

#### 来客者紹介 (親睦家族委員会)

##### 6月10日(水)出席者

広島南RC	1名
広島東南RC	1名
広島西RC	1名
広島中央RC	1名
広島安芸RC	1名

#### 幹事報告(賀谷幹事)

##### ■BOX配布物

- ・広島大学病院ファミリーハウス募金の資料を配付しております。
- ・7月第2例会臨時総会のご案内を配布しております。ご確認ください。

##### ■例会変更

- ・広島北RC「2014-15年度 最終例会&新会員歓迎懇親会」  
【とき】6月25日(木) 18:00～【※同日変更】  
【ところ】ホテルグランヴィア広島
- ・広島安佐RC「最終夜間例会」  
【とき】6月25日(木) 18:30～【※同日変更】  
【ところ】むさし

- ・広島城南RC「最終夜間例会」  
【とき】6月26日(金) 18:30～20:30【※同日変更】  
【ところ】メルパルク広島6F
- ・広島東南RC「最終例会・会員懇親会」  
【とき】6月29日(月) 18:30～【※同日変更】  
【ところ】ANAクラウンプラザホテル広島
- ・広島中央RC「最終夜間例会」  
【とき】6月29日(月) 18:30～【※同日変更】  
【ところ】半べえ

##### ■休会のお知らせ

- ・6月29日(月) 広島廿日市RC
- ・6月30日(火) 広島西南RC

【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

## 来賓卓話(1/2)

### 産学官連携と離島高専 ～地(知)の拠点をめざして～

広島商船高等専門学校  
地域連携コーディネーター特命教授  
長谷川 尚道 様

#### 1 現代の日本が抱える問題

(1) 私は高校卒業まで瀬戸内海のほぼ中央にある大崎上島に生まれ育ちました。高校卒業後東京の大学に入り、卒業後昭和42年東京都に入りました。当時の都知事は東竜太郎でした。その後、美濃部亮吉になりました。当時から安定志向があったのか東京都の応募者数は定員350人に対し、8,000人と20倍を超え、私自身もとても入るとは思っておりませんでした。公務員は成績主義と言うことで私の採用順位は300番前後でしたので、大田区に配属となりました。



(2) 気象変動＝亜熱帯化＋自然災害大型化→(分散型・小規模型)低炭素・水素社会の実現(2)大田区では契約の仕事や予算の仕事でお金にかかわるセクションを歩かされました。誘惑も多くきわどい経験も多々ありました。上司の嫌疑で一度、警視庁で取り調べられる羽目になったこともあり。そこでロッキード事件で捕まった田中角栄元首相と一緒にいたこと、そして彼が取調べ中にもかかわらず、堂々としており、陽気な雰囲気であったのが印象的でした。

(3) 東京都に13年勤務して縁あって地元に戻ることとなりました。地元の両親は猛反対でした。県庁にも出向し、今思えば多くの人々と出会い、町を思う気持ちが伝わればとことん付き合ってもらったことが、何よりの財産となりました。当初町にはお金もなく、お金を貯める施策を積極的に進めました。その甲斐あって、町政は補助事業と民間活力を導入して活況を呈していたと思います。大型店舗の誘致、老人保健施設の現地法人化、海岸・港湾事業の積極的推進など実績を上げてきたつもりです。

#### 2 産学官連携の仕事

(1) 両親の猛反対を押し切って地元に戻ったのに、役場も諸般の事情で50代前半で辞めることになりました。その後、東京で広告代理店の仕事に就きましたが、地元に戻り、福祉関係など地域に役立つ仕事と思い会社を立ち上げました。そうした中、経済産業省の「地域イノベーション創出研究開発事業」をかなわ水産㈱が受託できる様働きかけ、採択されるまでの取り組みをしました。事業総額は3か年で2億1千万円でした。テーマは「製氷システムを用いた広島牡蠣を夏場でも生食できる研究開発」でした。「夏場でも生食できる」この発想が多分注目されたのだと思います。

(2) ここで学んだことは産学官連携で新しい価値を創造する、その価値の創造が社会に広がり生活様式、人の行動様式をも変える、そのことがその要諦であると知りました。そして、そのことが国際社会の競争力にも勝てる力となることも……。お陰で、その手助けは出来たと思います。その結果、今都内デパートで夏場でもかなわ水産の牡蠣が売られております。また、今は外国にも販路を広げていると聞いています。

#### 3 広島商船高専へ

(1) 牡蠣の時の産学官連携は広工大をパートナーとしておりました。この産学官連携の話を高専の校長と話す機会があり、「地元で研究者を擁する高専があるのによその大学と提携するとは何事か」と叱られたのです。その時、文科省に即刻手続きをとって現在の肩書きで仕事に就くことになりました。

(2) 全国に国立高専は現在52校あります。うち商船学科を有する高専が5校あります。そのうち瀬戸内海に3校(弓削、大島、広島)あります。広島商船高専は歴史が古く、明治31年の創立で、当初は地元の回船問屋の船員養成所として、その後組合立、県立、国立と変遷し今日の姿になったと聞いています。商船学校と名前が付いておりますので、将来船長や機関長になる人材を養成する商船学科を想像されると思いますが、それ以外にも物流の情報処理を学ぶ流通情報工学科、ロボットなど電子制御を学ぶ電子制御工学科があります。学生数は専攻科生を含め650名おり、学生寮も450名収容可能となっております。

## 来賓卓話(2/2)

(3) 先般、日本経済新聞で「離島にある高専の人気の秘密」とコラムで取り上げられました。確かに、最近5年間の入学志願者数は1.8倍を超え、数年前の定員割れが、嘘の様な状況です。また外部資金の獲得も倍々の伸び率で研究費も先生によっては潤沢にあると言った様相を呈しております。これも学校経営のガバナンスがしっかりしてきた結果と自負しております。

### 4 大学COC事業

(1) 平成25年文科省から新規事業で「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の応募が始まり、本校も名乗りを上げました。中味は大学において地域課題を地域の自治体と連携して教育、研究、社会貢献を連動させて課題解決を図る拠点として相応しい大学に資金を投入する。年間5000万円を5ヵ年の資金を用意すると言うものでした。全国に1200ほど大学があります。大学単独で299大学が応募し、採択されたのは48大学でした。広島県は広島大、広島修道大学、広島商船高専の3つです。極めて県としては成績が良かったと言えます。県によってはまったく縁のない大学が多数出ました。全国の52高専では本校のみでした。

(2) テーマは「離島の地の拠点形成 — 離島高専の教育研究と離島の振興・活性化 —」としました。島の課題を福祉、産業、文化など12分野に分け研究することとしております。今、町を巻き込んで学生・教職員総がかりで住民とともに、この事業に取り組んでいるところであります。皆さんも是非離島高専に来て見て元気な学生を応援して下さい。

ご清聴ありがとうございました。

### <会長謝辞>

「商船」という言葉のイメージと少し違って、電子工学システム部もあるということで、学校に対する認識がかわりました。女子学生もそれなりにおられるということですね。長谷川様がお話しされたように、地域の企業にもっと就職されて地域貢献の役に立つようになればいいな、と思いました。本日の卓話、有難うございました。



.....SMILE BOX

### 渡部邦昭 会員

長谷川尚道様、本日の卓話どうぞ宜しくお願い致します。

当日計

4,000円

累計

1,199,000円